

※情報共有メールは、プラチナサポートの特典となっております。プラチナサポート加盟店以外への共有、流用等は禁止されております。

※配信当時の内容のため、現状の内容と異なる場合もございます。予めご了承ください。

プラチナサポート情報共有メール					
No.	643	配信日	2025/12/21	ジャンル	業界情報
テーマ	世界のブランドルーツ -スイス編（時計）-				

今回は世界の高級時計文化の中心地「スイス」にフォーカスし、なぜスイス時計が資産価値のある時計として評価され続けているのかを整理します。

1. スイス＝世界最高峰の時計王国である理由

スイスは、世界の高級時計市場において圧倒的な存在感を誇ります。ロレックス、オメガ、パテックフィリップをはじめ、「高級時計＝スイス」という認識は、今や世界共通です。しかしスイスは、もともと資源に恵まれた国ではありません。それにもかかわらず時計産業で世界の頂点に立った背景には、**地理・宗教・国民性** が深く関係しています。

ブランド名	創業年	特徴（中古市場での強み）
PATEK PHILIPPE	1839 年	最高峰・世代継承・超高額市場
OMEGA	1848 年	歴史・実績・ムーブメントの信頼性
IWC	1868 年	実用性・質実剛健・技術力
AUDEMARS PIGUET	1875 年	デザイン革新・富裕層支持
ROLEX	1905 年	圧倒的知名度・資産価値・換金性

2. スイス時計文化が生まれた背景と歴史

・地理と国民性

スイスは山岳地帯が多く、農業に不向きな地域が多い国でした。そのため、人々は屋内でできる精密作業に活路を見出します。
→これが時計・精密機械産業の原点。

・宗教的背景（カルヴァン派の影響）

16 世紀、宗教改革により「贅沢な装飾品は禁止、実用品は推奨」という思想が広がりました。その結果、宝飾品は衰退。しかし「実用品としての時計」は発展。
→派手さよりも**精度・耐久性を重視する文化**が形成されます。

・分業制による品質の極限化

スイス時計は早くから、ケース・ムーブメント・文字盤・針を専門職人が分業で製造。これにより、個体差が少ない修理・交換がしやすい、長期使用・世代継承が可能という**資産価値に直結する構造**が生まれました。

3. まとめ

スイス時計が世界で評価され続ける理由は、デザインや流行ではなく、国として積み重ねてきた「**精度と信頼の歴史**」にあります。この背景を理解しているだけで、査定・説明・仕入れトークの説得力は大きく変わります。

次回は「スイス時計ブランドごとの個性と役割（ロレックス／オメガ／その他）」をより具体的に掘り下げていく予定です。